

第3回五泉市総合計画市民まちづくり会議 [結果報告]

日時：令和3年6月9日（水）10時～12時
会場：五泉市福祉会館 3階 大会議室



会場の様子

◆意見交換：『新たな計画への『投げかけカード』をつくろう！』

4つのテーブルにわかれ、新たな計画の施策部分（全50施策）について、今後解決すべき問題・課題や取組の視点などを『投げかけカード』を用いて、意見出しを行いました。

■班分け表 (◎:会長、○:副会長、(欠):欠席) ※順不同・敬称略

No.	A班	B班	C班	D班
1	五泉織物工業協同組合 理事長 横野 恒明	五泉商工会議所 商業部会 副会長 佐久間 哲平	五泉ニット工業協同組合 事務局長 高橋 正春	JA新潟みらい 五泉園芸組織連絡協議会 副会長 ◎浅井 久美雄
2	五泉市障がい者総合支援協議会 副会長 岡村 密子	JA新潟みらい 村松特産振興協議会 副会長 今井 一智	一般社団法人 五泉市観光協会 副会長 林 聡明	五泉市消費者協会 会長 伊野 ハルノ
3	五泉市老人クラブ連合会 会長 小熊 弘一郎	五泉市母子保健推進員の会 副会長 長谷川 智美	五泉市五泉地域認定農業者会 副会長 松澤 克	一般社団法人 五泉青年会議所 理事 長谷川 祐哉
4	五泉市文化協会 副会長 岡村 正人	五泉市小中学校PTA連絡協議会 伊藤 和幸	村松地域認定農業者会議 会長 塚野 邦彦	市民公募委員 加藤 恵子
5	市民公募委員 落合 ひろ美	一般社団法人 五泉市スポーツ協会 副会長 ○金子 仁美	村松商工会 理事 今井 将人(欠)	一般社団法人 五泉市建設業協会 理事 横山 昇(欠)
6	五泉市校長会 五泉南小学校 校長 石田 雄介(欠)		新潟県新潟地域振興局 企画振興部 地域振興課長 山田 英範(欠)	

[投げかけカードの内容]

施策No.	施策名	項目名 (今後の取り組み)	施策に対する提案・意見	その理由・現状	関わり方		
					市民	事業者	行政
1	生きる力を育む教育の推進	① 誰でも楽しく学び、わかる教育の推進	● 地場の産業(農業・ニット・織物)に今よりもっと触れる時間を増やせないか(授業、遠足、修学旅行など)	地場の産業を知ってもらい、将来外に出た時、五泉にはあんなものがあったなと感じてもらい、出来れば将来の担い手になってもらいたい	小学生、中学生	各団体、企業	予算、段取
		② いじめや不登校の解消	● 家庭においていじめ不登校について親が教え、市、学校が手助けをする	責任は親にあります。他に責任をまかせない	各家庭	学校、教育委員会	市
		④ 就学や進学への支援	● 奨学金や貸付金などはとても大切。ぜひ、いろいろな方法がある事を相談にのってほしい	償還がやはり負担で就職してもしばらく返していることもある。			
2	教育環境の充実	① ICT教育環境の充実	● ICT機器の授業を親も学べる見られる機会が欲しい ● ICT授業に全児童がついていけるのか	子どもの方が詳しく、話についていけないので、会話のきっかけづくり。アナログな親もいるのでは？ ICTが苦手な児童もいると思う。対策は？		親に向けた授業内容の紹介？	
		② 教材教具の充実	● ICT教育環境の更なる充実→環境を整える ● 地場の繊維産業(ニット・織物)の商品もしくは端切れなどを用いたアイテムを置いた部屋(共有スペース)を設けられる	タブレットを使うと目が悪くなる。メガネをかけるが、そのメガネが高い	目が悪くならないよう自助努力	五泉市に本店がある事業所	メガネ購入の補助金。1/2とか1/3補助でいい
3	生涯学習の充実	⑤ 生涯学習関連施設の整備	● 複合施設の活用	五泉市の特色をアピール(農産物・産業・歴史)市以外の人。市民にも再発見			
4	生涯スポーツの推進	② 競技スポーツの振興	● スポーツ団体の拡大支援。もう一度「五泉市からオリンピック選手を」をテーマ	人口減少対策として他の市町村との差別化。子供、高齢者の体力づくり			
		④ スポーツ大会の招致と開催	● eスポーツイベント	子供たちが参加しやすい		イベント企画	実施のための会場提供
5	芸術文化活動の推進	③ 文化施設の充実	● 文化施設がほしい	五泉市の中学校、高校が吹奏楽のレベルが高いため			
		④ 芸術文化の鑑賞機会の充実	● 現実的な日程の紹介(有名人を連れてくる) ● ラポルテ五泉の活用	優れた音楽、美術演劇などにふれることは、人々を笑顔にすることから 色々な芸術文化を地元で見たい	積極的な参加		
6	図書館に親しむ環境づくりの推進	③ 子ども読書活動の推進	● おはなし会や読みきかせをやっている日時をもっと周知してほしい	気候のよい日は外でもやっているのはとてもよい取り組み！			
7	文化財の保護と利活用	① 指定文化財等の保存と利活用	● 地域と連携してふるさとに愛着と誇りを持ってよう、小中学生の市文化財見学学習を実施	市文化財を子供達に学習、認識をさせる			五泉市
		② 活躍する場づくり	● シルバー人材センターの方々ほどの様な仕事内容があるのか、どのような事を助けてもらえるのかパンフレットがあると良い	一般業者に依頼すると金額が高額なので見てすぐわかる様になると良い			
		③ 通いの場による地域づくりの推進	● 活躍する場での情報発信	高齢者は情報をつかみづらい			活動の場での情報発信
8	高齢者の社会参加の推進	④ 高齢者ボランティアの育成	● やりがいのある事を提供する	元気な高齢者が多い			高齢者の集まりやすい場を作る
		③ 相談支援体制の充実	● 保育園や小学校などで早期に発達の遅れに気づき家族、本人への支援。相談にのって欲しい	「わからない」「不安」を家族も周囲も思っているがどうして良いかわからないのでは？			
9	障がいのある人の自立と社会参加への支援	⑤ 雇用・就業、経済的自立の支援	● 農業経営における障がい者雇用を促進してもらいたい	国、県の助成はあるが、雇用期間2年くらいでなくなってしまう。継続的な支援が必要である		障がい者の受入を行う	障がい者雇用支援
		④ 育児不安の軽減や指導、相談の推進	● 男性でも相談しやすい環境を取り入れる	男性が育児を担当する機会が多くなっているため			情報の発信
10	親子の健やかな発達への支援	⑤ むし歯予防の推進	● コロナの中でも幼稚園でフッ素ができるよう工夫してほしい	園でやってもらえたら無料だが、自分で歯科に連れていくと有料なので	積極的に虫歯予防をする		歯科に行く場合の補助
		② 保育の「質」の向上	● 保育園と幼稚園、私立と公立の交流を増やす	子供の人数が減っているため、いつも同じメンバーで遊ぶより、新しいお友達と出会える場が欲しい。小学校が違う子も			
11	保育支援の「量」と「質」の充実	② 保育の「質」の向上	● 保育園と幼稚園、私立と公立の交流を増やす	両実家が遠方で頼れない、遅くまで仕事になってしまった場合、あずけ先がなく困っている人がいるため			
		② 地域で支える子育て支援の充実	● ファミリーサポートセンターの利用時間の延長 ● ファミリーサポートセンターの利用方法をもう少し簡単にしたい	いざ頼みたい時に、一週間前くらいに申込みが必要で間に合わないことがあるため		ファミサポ提供会員を増やし、急な対応にそなえられるようにしてほしい	
12	子育て支援の充実	④ 子育てに伴う経済的負担の軽減の推進	● 年数回で良いのでプレミアム商品券のようなものを発行(にこパス加盟店で使える)	子育て世代の更なる経済的負担の軽減		子育て応援ににこパススポーツの加盟	情報の発信、告知等

施策No.	施策名	項目名 (今後の取り組み)	施策に対する提案・意見	その理由・現状	関わり方			
					市民	事業者	行政	
13	援助を必要とする子どもと家庭の自立への支援	② ひとり親家庭の自立のための制度の推進	● ひとり親家庭にならないような施策を考える	子供達が大変	全体			
		- (飢餓をゼロに)	● こども食堂の拡充 ● フードバンク協会との連携	他人(大人)とのふれあいや相談できる機会は重要。 行政と民間が手を取り合う			情報の発信、告知	
14	健康づくりの推進	① 総合的な健康づくり事業の推進	● 窓口を一つにしてほしい	運動したいと思って問い合わせても、年齢や運動内容により〇〇課へ問い合わせてくださいと言われる 有料になって使用する人が減っている			市民にわかりやすい担当窓口を設置	
		④ 運動習慣の推進	● 総合会館やサクラアリーナの使用料金を無料にする ● 一般の人の運動を推進して各運動場の使用料金を下げてほしい ● 市民にもっと運動してほしい	市やスポーツクラブヴィガで、いろいろな教室を行っているが参加者が少ない。いつも同じ人の参加が多い		PRの工夫	もっとPRを。PRの仕方を工夫	
15	疫病予防の充実	④ 感染症対策及び食中毒の予防の推進	● コロナウイルスの為、高齢者は集会や会合が出来ず困っております	ワクチンを早くやってほしい				
16	食育の推進	④ 地産地消の推進	● 自産自消の推進(空いている土地で野菜を作り家族で食べる) ● 介護認定者は1…2…5 認定するその時の認定基準	食物に対する感謝、育てる大変さ、旬の野菜を食べる喜びを学べる 介護使用				
17	高齢者福祉・介護保険の充実	① 介護予防の推進	● 過疎地域への配食の支援をしてほしい。あたたかいご飯を届けたい。どこにいても生活のサービスを活用できるようにしたい	配食業者はコストがかかるため、配達できない箇所がある		市町村全域で届ける	配食業者への配送コストの助成	
		② 地域包括支援センターの充実	● 認知症と思われる一人暮らし老人を誰がどのようにして介護につなげていくのか？	民生委員と支援相談員との連携はできているのか	地域での見守り			
18	医療及び保健福祉体制の充実	① 地域医療体制の明確化と充実	● 地域医療体制の充実	救急で行った時に対応できない			医師の確保	医師の確保
			● 五泉市に産科を！	いざという時に遠いと大変。出産することに不安を感じる一因			産科医の誘致？	
20	私たちがとりまく環境の保全	② 自然環境保全の推進	● 自然の保全	緑の減少	五泉の自然を知る		学校での教育	
		③ エネルギー使用の合理化と地球温暖化対策の推進	● 自然エネルギーの活用や全市LED化の実現	地球温暖化に取り組み SDGs など省エネ家電の使用で二酸化炭素の排出を抑える	省エネ家電の購入		補助金の確保	
22	交通安全と防犯の推進	① 交通安全意識の啓発	● 市民、特に高齢者への交通安全教室の実施	保育園、小中学校への交通安全教室はあるが高齢者向けの実技教室が少ない				
		② 交通安全施設の整備の推進	● カーブミラー設置の推進	事故がありカーブミラーの設置をお願いしたら町内会を通すように言われ、その後「注意喚起看板」のみの設置となった				
		④ 地域における防犯体制支援の充実	● 小中学校の不審者への対応	実際に不審者が学校に入った場合子供達を守れるか？				
23	雪に強いまちづくりの推進	② 消雪施設の整備と改修の推進	● 消雪パイプ整備してほしい	大雪になると除雪が間に合わなくて立ち往生したり、堤防から転落する車が多くなる			五泉市で車が増えている道路を調べ優先的に消雪パイプにしてほしい	
			● 幹線道路ではない道の消雪パイプがよく止まるので出来るだけ出して欲しい	消雪パイプがあつて助かる一方、大雪が降ると除雪車が入った方がましな時も多くあるので			なぜ水がよく止まるのか理由を知りたい	
		③ 地域と一体となった除排雪の推進	● 登下校時子どもが安全に通れるようサポート	歩道の除雪はされていても、小さい子はその雪の壁で見えない可能性があるため。車に気付いてもらえない恐れがあるため	時間に余裕のある方が道路に立つ		歩道も見えるカーブミラー設置？	
		④ 自力除雪困難者への支援	● 10年間高齢者で除雪は無料でやってもらっていたのに、今年は私一人増えて2人世帯になったら費用が4万強も必要となる。これは自力除雪困難者とならないのはなぜだ					
24	消防・救急・救助体制の強化	⑤ 救急救助体制の充実	● 救急車はすぐに来てても病院が受け入れるのをスムーズにつなげて欲しい	待たされることが多い。コロナで、なおむずかしいか				
		⑥ 応急手当の普及と啓発の推進	● 救命講習受講者を増やして。土日などもっと回数も	知識としてだれもが身に付けていると良い				
25	防災意識の高揚と防災施設整備の推進	① 防災意識の高揚	● 市内一斉訓練を年1回はすべき	ハザードマップの周知や意識向上	協力			
			● 防災(避難場所)の体験	災害があつた時にスムーズにその施設が使用できるように				
26	青少年を地域ぐるみで育む環境づくり	③ 防災施設等の整備の推進	● 我が家の避難所は東小学校である。早出川の近くののに広いからと大丈夫か？	ハザードマップではキケンな所である				
			④ 地域での活動機会と活動の場の充実	● 子供会と町内会との合同イベント	子供が少なくなっている			
27	地域における福祉活動の充実	① ボランティア活動の育成支援	● 学生のボランティアへの参加支援	日本は他国と比べてボランティアに対する意識が低いので若い頃から身近になるよう	ボランティアへの受け入れ	ボランティアへの受け入れ	学校での教育	
		② 民生・児童委員活動の推進	● 民生委員、相談役の活用周知	地域でのつながり				
28	国際化に向けた環境づくり	① 外国人との交流機会の創出	● 交換留学、ホームステイももっと機会を増やして欲しい。条件をやわらかく？	学力は追いつかないが、やる気がモリモリの子もいるのでは？			旅費の補助	
			● 国際感覚を若い時期に体験(色々な国)	国際感覚のある人材育成、教育につながる				
29	商業の活性化	① イベント開催やPR活動等による商店街の活性化	● 異業種との連携(オール五泉で)	五泉には特色のあるお店があり五泉全体でPR。いいものがいっぱいある			各団体の調整	
			● 各種イベントの広げ方	イベントの効果が薄い(スタンプラリーだけでなく2次効果も)	イベントの参加	横のつながりを持ってイベントを考え行政と連携	事業者の意思も取り入れる	
		● 実施主体者のみのイベントになっている	参加者が少ない。地域の横のつながりが薄い	個々人の意識が強い	幅広い業種のつながり			
30	工業の活性化	② 各種融資制度による商店経営の安定化	● 持続可能な商業。融資制度の拡充、補助金等	廃業、倒産が増えている				
		③ 起業・創業の支援	● 商店街に新たに起業ができるチャレンジ事業的な施策を作してほしい(空き店舗活用、住居として使用している一部レンタルなど)	商店街は昔ながらの営業方法、後継ぎ問題など多く課題を抱えているので少しでも変化を発信した方が良い	商店街に興味を持つ	時代に合った発想を持つ		
		④ 地場産業活性化の推進	● 地場産業を知ってもらうPR。良さを知ってもらう(一団体では限界)	大手アパレル商品(ブランド)を作っているが、一般消費者は知らない	見て触れてもらう機会を増やす			
30	工業の活性化	② 工場の増設支援及び企業誘致の推進	● 五泉市民が働きがいのある企業誘致をめざす	若者は他市へ働きに行っており、いっそう人口減少が進む			企業誘致	
		④ 次世代を担う後継者の育成	● ワークショップ(体験)機会を多くし興味を持ってもらう	市民向けのイベント積極的に行っていない				

施策No.	施策名	項目名 (今後の取り組み)	施策に対する提案・意見	その理由・現状	関わり方		
					市民	事業者	行政
31	農産物のブランド化と安全で安心な食の推進	① 農産物の五泉ブランド確立と生産・販売の推進	● 異業種との連携(オール五泉で)	ラポルテの活用			
		② 特産物を活用した加工品等の開発	● 特産品を使った加工品の開発 ● 特産農作物の活用	ラポルテの活用ができてアンテナショップがある中で特産物の加工品(おみやげ)がない 農作物の加工品が少ない		(農家)開発。地元加工会社を支援してもよい	開発の支援、パッケージの助成
		③ 地産地消の推進	● 地産地消は子供達との関わりが必要でないか(学校田・畑)		アイデアをだす	アイデアを募集	アイデアを募集 体験型農業の実施
32	農業の担い手育成と安定した経営の支援	① 担い手及び農地所有適格法人の確保と育成	● 市でも農業に参入しては？ ● 農業に関して担い手不足で労働力が大変になっている。農業機械が高い	市で年中雇用して担い手の確保 農業というものに魅力がない			市 農家に対してもう少し助成していただきたい
		① 生産基盤整備の促進	● 農地集積と基盤整備をするまでに時間がかかりすぎる ● 農業の後継者不足による農地の荒廃が今後いっそう進みます。基盤整備事業を待たないで進める ● 農地集積を進めてください！	今からすると早くも12～13年後で今の若手も年を取ってしまう 現在、農業者の平均年齢は65～70歳くらいであり地域ごとの法人化を進めなければなりません。機械の大型化に見合う基盤整備が必要なため 若手が育たない、入らない、もうからない	集落環境を守る。維持管理への参加	法人化の有資格となる為の努力	基盤整備事業完了、各補助金の確保
33	農地と農村の環境整備	③ 農村集落道の整備の促進	● 農道の整備、機械の大型化	砂利道路なので石が飛んだり穴が多くでき、通りにくくなっている			各地域で農地集積説明 道路整備にもっと力を入れて
		① 森林の育成と保全	● 森林の育成と保全は長くこれからも継続する必要がある	きれいな水資源林はこれからも必要だから	パトロール		不法投棄の監視
35	地域資源を活かした観光と都市交流	① 観光客を受け入れる体制の強化	● 町並み整備すべき	観光客が来た時に、ガッカリしない、市民の人達が意識を変える	自ら周囲だけで良いのでキレイにする	自ら周囲だけで良いのでキレイにする	廃屋対策
			● 五泉のPR	五泉の良い所の活用ができていない	ボランティアへの参加	市民と連携する	市民と連携する
			● 市、行政組織で観光課を設立する	専門に観光を行う			市役所
		● 何回も五泉市を訪れてもらえるよう、行政や観光関係者以外の市民に対しても「おもてなし」に係る意識醸成を図る。 例:市や観光協会主催の「おもてなし講座」の開催(対日本人、対外国人) ● 「インバウンド」を積極的に推進するのであれば、相応の受入体制整備を一層強化する必要がある。メインターゲットとなる国・地域に対応するパンフ・web・案内看板等の多言語化及び旅行エージェント等に対する働きかけを一層推進し、誘客宣伝の強化を図る。	五泉市のファンを増やし、リピーターとなっていただくことで地域経済の活性化を図る	「おもてなし」の心の醸成	・受入体制の強化の推進 ・「おもてなし」の心の醸成	・受入体制の強化の推進 ・「おもてなし」の心の醸成	
		② 魅力的なイベント・観光ルートの創出	● 登山イベント(終わったら温泉) ● 地元の魅力を再発見するイベントを異なる業種がコラボして開催する ● 五泉市は阿賀野川、磐越西線、高速道路等で県内外の他地域と繋がっており、広域連携の視点で観光振興を推進することは必要だと思われる。 ● 例えば、県新潟地域振興局では食や酒に着目した「会津・新潟ごっつおライン」を提案している。参考にしてみてください。https://gozzo-line.com/	五泉市には登山ルートがいくつかあるので、イベントを通して交流を図る	参加	スポンサー	広報
⑤ 歴史・文化・産業の観光資源化の促進	● 昔、電車の通っていたあとがもったいないな一と思う。お花でも植えておけばきれいなのに						
36	雇用創出と環境整備	① 若者定住とU・I・Jターンの促進	● 年齢で仕事内容が制限される。まいたけ、おもちゃ、スーパーの掃除しかなかった。現実です。	若い子が外に仕事を求めるのは必然である			
		③ 働きやすい就業環境の推進	● 子育て中のママが働きやすい職場が欲しい ● 人手が足りない。この1～2時間のための雇用をもっと発進！	子供の急な発熱。曜日、時間の融通がきかないと続けられない 時間、曜日の融通がきく職場を探している、単発の仕事を探しているママも多いため。	お互いに歩み寄る	お互いに歩み寄る	
		④ 企業誘致と起業・創業支援の推進	● 自場参場の支援、メリヤス、織物	市が活気づく	歩みより	歩みより	
		① 縁結び支援の推進	● 相談員など少し固いものでなく、おせっかいすぎるぐらいの人を活用した出会い→結婚等してもらえないか？	人によるパワーはすごい			
37	地域の魅力を活かした定住と移住の促進	② 若い世代の定住と移住の促進	● 市外からのU・I・Jターンを図ることも重要であるが、同時に、今五泉市に居住している住民が市外へ転出しないような施策。 例:きめ細かい子育て支援や生活環境の整備や魅力的な働き場所の確保等も一層推進していただきたい(人口の社会増減においては、転出抑制もU・I・Jターンと同様の効果なのでは?) ● 児童生徒に対しては、大学等への進学で市外に転出した者からUターンを選択してもらえるよう、郷土の素晴らしさを伝えていく。	人口の減少は避けられないかもしれないが減少幅を緩やかにすることで、なるべく長く五泉市の活力を維持していただきたい		・魅力的な雇用の場の確保・創出	・U・I・Jターンの促進 ・市民の転出抑制策の推進 ・魅力的な雇用の場の確保・創出 ・郷土愛を育む取組
		④ U・I・Jターンの促進	● 自ら帰って来たいと思える様な「仕事はこれがあります」「住宅用意あります」と具体的な策があるとよい	こちらに実家がなければ年寄りの世話とかやむを得ず帰って来る場合が多いのでは。			
		⑤ 地域おこし協力隊の活用	● 協力隊を活用するのであれば、「地域の活性化」等ざっくりした業務ではなく、受入の意思やミッションが明確な地域に限定して受け入れて、地域と隊員がWin-Winの関係となり、任期終了後の定住に繋がるようにしていただきたい。 ● 人により力量の差が大きいと思われるので、焦って変な人を採用しない慎重さも必要になると思われる。隊員の活動や定住に対する研修やフォローを市でも積極的に実施していただきたい。きめ細かいフォローが定住に繋がると考えられる。 ● 協力隊や移住・定住はハードルが高めであると考えられるため、「関係人口」に着目して、地域の維持・活性化を図る施策も推進していただきたい。 例:「五泉応援団」の一層の活用、中越防災安全推進機構にいがたイナカレッジ「短期インターンシップ」・「おてつだい Plus」の活用、大学生との継続的な交流等	人口の減少は避けられないかもしれないが減少幅を緩やかにすること及び市外居住の五泉市出身者・五泉市に何らかの関わり・興味・関心がある人たち(関係人口)も巻き込んで様々な地域の活動ご協力いただくことで、なるべく長く五泉市の活力を維持していただきたい。			

施策No.	施策名	項目名 (今後の取り組み)	施策に対する提案・意見	その理由・現状	関わり方		
					市民	事業者	行政
38	ごみの減量化とリサイクルの推進	① ごみの発生抑制・減量化の推進	● ゴミ問題はまず発生させない事から始まる(特に紙ゴミの分別化) ● 家庭の雑草を出さない ● 今でもゴミボットの導入支援はやっているのか	紙ゴミと生ゴミと一緒にゴミステーションに大量に出ている ゴミの減量化	意識の変化 全体		周知徹底
		⑤ ごみ処理有料化の検討	● 有料化にしない	不法投棄がふえる			
40	安全で快適な道路整備	③ バリアフリー化と安全性の向上の促進	● 生活道路での一時停止標識の補修が必要である ● 幅員のせまい道路が非常に多い。通学路にもなっている	集落の中の住民が把握していても配達業者や道に慣れていない方が標識を見落としてしまう 交差点がわかりにくい	行政へ伝える。危険個所の発見	行政へ伝える。地元業者が補修を行う	危険個所の把握
		① 公共交通の維持・確保	● 誰も乗車していない空のバスが走っているのはなぜか？ ● さくら号を利用しやすいように ● 馬下の保養センターに行きたいのだが交通手段がない	個人の都合に合う様に時間や行き場所 高齢者の足がない。咲花温泉に日帰りで行きたいが、さくら号も予約が煩雑であり、手段がない			
41	公共交通の利用しやすい環境整備	③ 公共交通利用のための環境整備	● 1.五泉駅前にも駐車場の整備を ● 2.送迎の車の待機場所がなく、こまる	1.駅まで車で行って電車に乗りたい時がある 2.駅前で路上駐車して混んでいることがある			
		② 良好な住環境の形成	● 空き家対策。根抵当がついている物件の対策	手付かずで空き家が残ってしまう			
42	快適な居住環境の整備	② 良好な住環境の形成	● 空き家対策。根抵当がついている物件の対策	手付かずで空き家が残ってしまう			
43	緑豊かな憩いの場の整備	① 緑化意識の啓発	● 緑化を推進する団体、個人への支援と民間への広め方	緑が好きなお手入れの出来る方が参加しやすくする	町内会、婦人会、庭を見てもらいたい方	庭のある飲食店など	参加したくなるような体制づくり
		② 都市公園などの整備の促進	● 南公園は道路が通り、見通しが良く安全性が増えた。草木の手入れをして、きれいにして欲しい				
		③ 河川敷を活用した公園整備	● 河川敷を新潟市のまねをして自由に遊べる公園を作ってほしい ● 河川敷の水洗トイレの整備やアブ等を取るものを設置し、キャンプ場として利用できるようにする ● 早出川でのBBQによるゴミ問題解消のため、河川公園の整備やBBQ専用スペースの設置	五泉の河川敷はどの場所も草や木があり遊べない所ばかりです キャンプ場の利用が増えている。市外からの利用が増えると思う BBQ後のゴミの廃棄が多い			草刈りは行っているが木もきってほしい
		④ 自然や森林を活用した公園整備の推進	● 公園を使った参加したくなるイベントがあるといい	市民に知ってもらうため	イベントへの参加	参加したくなるイベント。横のつながり	参加したくなるイベント。横のつながり
44	市民参加と協働による地域づくりの推進	① 地域づくりに対する意識の醸成	● どんな地域にするのか明確さがわかりづらい ● 市民(若者)の社会参加が必要である。各団体の広報をしてほしい ● やる気や現状に問題意識がある自治会やコミュニティの団体等には、「小さな成功体験」をしていただくことが必要ではないかと考える。「がんばる地域応援事業補助金」の上限や補助率を引き上げる、地域づくりの専門家のアドバイスを受けることができる機会を設ける等も検討してみたいか(全国的に自治総合センターの「コミュニティ助成事業」の人気の高いのは、基本的に住民負担がないことと、用途制限の緩さのせいかな?)。 ● 「がんばる地域応援事業補助金」の活用事例等地域住民の取組について、発表会の開催や市報・市HP等での広報を積極的に行い、事例の周知及び共有を一層推進する。 ● 県内外の他の自治体の参考事例の収集及び情報提供を行う。	年間参加者が20%台では本当の市民参加とは言えない 今後の協働による地域づくりのため 住民の高齢化等の問題はありますが、結局は、「地域が主役」=地域のことは地域の住民がプロであり、彼等が主役として活動しないと地域が衰退する。少しずつでも活動する人が増えていくような仕掛けを地道に構築していただきたい。	住んでいる地域に関心を持つ(リーダー不足)		地域にもっと出向く 広報紙を活用する ・意識醸成 ・助成金、取組事例発表会等インセンティブの付与 ・参考事例の情報提供 ・取組事例の情報発信
		② 地域づくりの基盤整備	● 市民協働に関するルールづくりが必要 ● ニュータウンでの町内会の整備。その町内会長は誰か?どんな活動があるか新築時にお知らせが必要	参加のハードルを下げる 住み始めたが広報紙が届かず情報がない	興味を持つ 交流をふかめる?	不動産屋と町内会の連携?	市民の意見を募集
		③ 担い手の確保と人材育成	※「37 地域の魅力を活かした定住と移住の促進⑤地域おこし協力隊の活用」と同じ。 ● 各団体、青年団への育成を含めた支援が必要である	地域のことは地域の住民がプロであり、彼等が主役として活動しないと地域が衰退する。少しずつでも活動する人が増えていくような仕掛けが必要ではないか。 市外居住の五泉市出身者・五泉市に何らかの関わり・興味・関心がある人たち(関係人口)も巻き込んで様々な地域の活動ご協力いただくことで、なるべく長く五泉市の活力を維持していただきたい。 地域の様々な団体の高齢化や若者の社会参加離れが見られるため			各団体への支援
47	情報公開と説明責任の充実	① わかりやすい情報公開の推進	● 高齢者にも分かりやすい、スピード感のある情報提供	コロナワクチンの接種に関する情報がホームページですぐに更新されるが、高齢者はPCやスマホで見ることは出来ない			
48	健全で持続可能な財政運営と行政改革の推進	④ わかりやすい財政情報の提供	財政内容の説明	市民の理解			
49	組織・機構改革の推進	② 民間委託、指定管理者制度の推進	指定管理者制度に依頼してしまうから、せっかく新設したラポルテ五泉など愛着がわかないのではないかな				
50	人材育成の推進	③ 若手職員及び女性職員の積極的登用	課をこえた連携に積極的に(優秀な方の活用)	年にとられない業種能力評価いただきたい			

※全3回にわたっていただいたご意見は、担当課での計画検証と、新たな計画づくりの参考にさせていただきます。非常に多数のご意見ありがとうございました。